

「あぜ」や「せき」について

やまきききたしょうがっこう
山崎北小学校

このごろ、水田や畑のようすを見て気づいたことはありませんか。
もうすぐ、米作りが始まります。農家では田をおこし（耕し）、肥料
をや、水を張ります。そして、もみまきをして、なえを育て、田植
えをします。また、畑では植えつけをしています。

米作りや植えつけでは、太陽と水と土が大切です。

水・・・田に入れる水は、農家の人がお金を出して水利組合から買
っています。水を入れるのに2～3日かかることもあります。

土・・・土には肥料を買ってまいてあります。水に溶かした肥料が
流れ出してしまうと大損害です。

これらの大切な水と土が流れ
出さないように守っているのが
「あぜ」です。

また、水の出し入れをするた
めに「せき」という小さい板を
入れています。



「あぜ」や「せき」のまわりは水がもれないように気をつけて手入れ
してあります。

この「せき」や「あぜ」をほかの人がさわると、せっかく田に入れ
た水がもれてしまい、農家の人に大変めいわくをかけ、損害をあたえ
ることになりますので、絶対に「せき」をさわったり、「あぜ」を歩
いたり、田畑に入ったりしてはいけません。

「あぜ」は農家の私有地であり、道ではありません。他人が勝手に通
る権利はありません。

また、田や畑はいねや野菜が育ちやすいように、農家の人が何年も
かかって石などを取り除き手入れをしています。そんな努力をしてい
るところに石やビン・カン・ゴミ・棒などを投げ入れることは絶対に
してはいけないことです。

保護者の皆様へ

米作りや畑の植えつけの季節を迎え、学校では上記のような指導を行いました。ご家庭
でもお子様と一緒に読んで、発達段階に応じて補足的な指導をして頂けると大変ありがた
いです。地域のモラルを高めるためにご協力下さい。よろしくお願いいたします。